



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」  
— 気付き、生かす —

# 若松中だより

千葉市立若松中学校  
校報  
第 65 号  
令和 3年 3月22日

## あと3日の令和3年度「新たなる伝説」に向けて

校長 古市 直彦

3月16日（火）本年度の卒業証書授与式に参加することができなかった在校生に、卒業式のダイジェスト映像を見てもらう機会を設けました。

各教室のテレビ画面に映る卒業の凛々しい姿、やり遂げた満足げな表情…

昨年度の卒業証書授与式は、休校期間に卒業生だけで実施したので、現在の2年生も「初めて見る若松中学校の卒業式」でした。

そのあと、3学年主任の\_\_\_先生から、1・2年生に、次のようなメッセージが贈られました。

### 更に輝く学校に！！

1・2年生の皆さん、先日は「3年生を送る会」において、心のこもった素晴らしい発表、ありがとうございました。この状況の中で、あれだけの発表をするには、たくさんの苦労や努力があったのではないかと思います。その皆さんの頑張り、しっかりと、3年生一人一人に届き、笑いあり、涙ありの一生の思い出に残るものになりました。本当にありがとうございました。

また、合わせて、卒業式の準備もありがとうございました。今の映像からもわかるとおり、とっても立派な会場で、また、華やかな教室で、無事に3年生を送り出すことができました。重ね重ね、ありがとうございました。

さて、無事に卒業していった3年生ですが、最後の1年、新型コロナウイルスの影響もあり、最高学年としての姿を、例年に比べ皆さんに見せる機会が残念ながら減ってしまいました。若松中に後悔を残すことなく卒業していった3年生ですが、その点については心残りであったようです。

そこで、3年生が、どんなことをテーマにおいて、この3年間を過ごしてきたのか、また、どんなラストをこの卒業式に込めていたのか、少し紹介したいと思います。

創立40周年の節目の年に入学した先輩達は、まず、1年生のうちに中学校3年間のラストを立派に迎えるための【土台作り】をしようとテーマに決め、「ABC」を合い言葉に学年で心を一つにし、授業や給食、掃除、部活動等の基盤作りをしました。「ABC」とは、生徒総会の時にも質問が出ましたが、「当たり前な事を、馬鹿にしないで、しっかりやる。」という意味です。その成果もあり、校外学習や初めての行事でもその力を発揮し、土台はしっかり作られました。

次に、中堅学年2年生では、「中だるみしない」を合い言葉に先輩を支え、後輩を引っ張る【磨く1年】をテーマに取り組みました。意味としては、1年生の時に作った土台を、さらに心を一つにして磨きをかけるという意味です。先輩達は、生活面においても、自然教室や職場体験等の



行事においても、一生懸命磨きをかけ、決して「中だるみ」することなく中堅学年を終え、3年生につなげることができました。ただ、準備していた「3年生を送る会」が、突然、学校が休校期間になってしまったため中止になってしまったことがとても残念でした。

そして、最高学年3年生では、「後世にも語り継がれる伝説の学年になろう」を合い言葉に、今まで磨いてきたものをしっかり【輝かせる】ことをテーマに取り組みました。休校で2ヶ月減ってしまったり、総体やコンクールが中止になったり、本当に大変な一年でしたが、「最後の」が付く日々の中で、眩しいほどの【輝き】を見せてくれたと思います。3年生にとって一番大きな壁：「受験」を乗り切ることができたのも、『個人戦だけと団体戦』と、心が一つになった結果でした。

年が明けてからの3ヶ月は、「今までやってきたことの『答え合わせ』を」という言葉が先輩達から発信され、受験が終わって気が抜ける時期にもそんな姿はなく、最後まで【輝き】を放ってくれました。

先輩の卒業式の姿はどうでしたか。

最後の「答え合わせ」はしっかりとできていましたか。

伝説の学年にはなれていましたか。

その答えは、今の映像を見て、また、私の話を聞いた皆さんが出してみてください。



最後に先生からお願いがあります。この若松中学校は、先生にとっても思い出がつまった母校です。新3年生になる2年生は、卒業していった3年生よりさらに輝く学年となり、もっとまぶしい若松中を築いていって下さい。そして、「新たなる伝説」をお願いします。新2年生となる1年生は、新3年生をしっかりと支え、新しく入学してくる新1年生をしっかりと引っ張っていって下さい。1・2年生で心をつにし、さらに輝く学校をよろしくをお願いします。以上で、先生の話の終わりにします。ありがとうございました。 (3学年主任 \_\_\_\_\_)



卒業生について素晴らしいと思っていたことの一つに「姿勢」があります。在校生の皆さんの中にも気付いた人はいるのではないのでしょうか。卒業式当日もちろん素晴らしかったのですが、普段の授業や朝読書の時もなのです。心の姿勢が体の姿勢に表れていたのかもしれないね。在校生の皆さんも、負けてはいないはずです。令和3年度の学校生活もあと3日になりました。「新たなる伝説」に向けたしめくくりをしっかりとしてほしいと思っています。

校報「若松中だより 第65号」をお届けします。本校では、皆様のご意見やご感想を広く募集しております。お気づきの点等ございましたら、下記までご連絡ください。

( 千葉市立若松中学校 校長：古市 直彦 ☎043-232-6125 )